



～NHK名古屋放送局 TV放送開始60周年事業～ 8Kスーパーハイビジョン・パブリックビューイングの開催

NHK名古屋放送局は、1954年（昭和29年）3月1日にテレビ放送を開始し、今年で60周年を迎えます。これを記念するイベントの一環として、昨年催された岐阜県高山市「秋の高山祭」の様子を8Kスーパーハイビジョン（SHV）映像で公開するパブリックビューイングを開催します。

今回は、このSHV映像制作現場の様子をご紹介します。

秋の高山祭

2013年10月9日、10日に開催されました。伝統衣装に身を包んだ数百名の行列が町を巡る御神幸や、からくり人形を巧妙に操る奉納が行われました。

撮影の様子

SHV中継車は全国で1台しかありません。そこで代替として、運搬車の荷台に映像編集機材や音声機材をセットして、フォーカスや音声の調整を行いました。また、撮影するポイントや行事に応じてカメラやマイクの位置を変更し、SHVの特徴を生かしたコンテンツを提供できるよう、現場が一体となって制作が行われました。



高山祭の他にも、ソチオリンピックのフィギュアスケート競技映像（予定）をSHVでお楽しみ頂けるよう準備を進めています。この機会に是非、SHVの映像・音声を体感ください。

8Kスーパーハイビジョン・パブリックビューイング（予定）

場所：NHK名古屋放送局（名古屋市東区）

日時：2014年3月1日、2日 10時～16時 観覧無料、入場自由

「デジタル放送宅配便」に関するご意見や質問は
お近くのNHK（最終ページ記載）まで

【設置確認メッセージ消去用販売店様専用電話】
「0120-500536」
自動音声応答による24時間受付（年末年始は休み）



寒い冬！熱いスポーツ！ テレビやスマホで楽しもう！

ソチオリンピックでは、各種デジタル技術を活用してサービスを展開します。ぜひ、お試しください。



時差再生(イメージ)

ハイブリッドキャストで時差再生サービスを提供！

該当番組の放送中に「時差再生起動ボタン」を押すと、番組の冒頭に戻っての視聴が可能になり、その後は任意で早送りや巻き戻しを利用できます。

番組が終了すると、新たにこのサービスを利用することはできません。

[総務大臣認可(昨年11月20日)]

PC向けライブストリーミング

ライブストリーミング(生映像配信)では、NHKと民放の事前の放送計画の中で生中継をしない競技を、1日数種目配信予定です。新たに時差再生も可能となりました。競技の途中でも、最初に戻って見られます。

[総務大臣認可(同上)]

ライブストリーミング(イメージ)



スマートフォンでメダル速報を！

はじめて公開する無料のアプリです。放送予定やメダル獲得の1報をお伝えするほか、動画サービスも利用できます。

携帯サイトでは、放送予定とメダルランキングに絞ったサービスを提供します。



サイト画面(イメージ)

PC向けサービスやスマートフォン向けサービス利用に伴う通信料はお客様のご負担となります。

デジタルテレビ(データ放送)で手軽に楽しむ

日本人選手を中心に放送予定、競技結果を表示します(総合とBS1の予定)。画面下部には常に放送予定を表示し、気になる競技、気になる選手の放送がすぐにわかります。

また、画面右では視聴者参加コンテンツを2種類提供します。“みんなで選ぶベストシーン”と“スタンプラリー”です。

オリンピックデータ放送(イメージ)



(2013年12月5日 報道資料より)

【デジタル放送など、NHKの放送受信に関するご相談窓口】

「0570-00-3434」又は「050-3786-5006」(平日、土日祝日とも9時～20時)

ホームページ「NHKデジタル」もご利用下さい <http://www.nhk.or.jp/digital/>



モバキャスト送信所の新たな開局

携帯端末向けマルチメディア放送（V-high）「モバキャスト」は、東海北陸地域では名古屋、豊橋、津、金沢、富山、福井で放送中ですが、今回新たに岡崎（愛知県）、岐阜にも送信所を設置しサービスを開始します。

モバキャストにおいて現在放送中の放送局がNOTTVです。

	岡崎送信所	岐阜送信所
設置場所	西尾市吉良町宮迫榎木	岐阜市金町
送信出力	7.5 kW	7.5 kW
試験電波発射	2014年2月上旬	2014年1月上旬
本放送開始	2014年3月	2014年2月

モバキャストは、アナログテレビ放送で使用していたVHFハイチャンネルの一部の周波数を使って放送するため、モバキャスト送信所の近傍では、稀に地上デジタル放送に障害を与える場合があります。

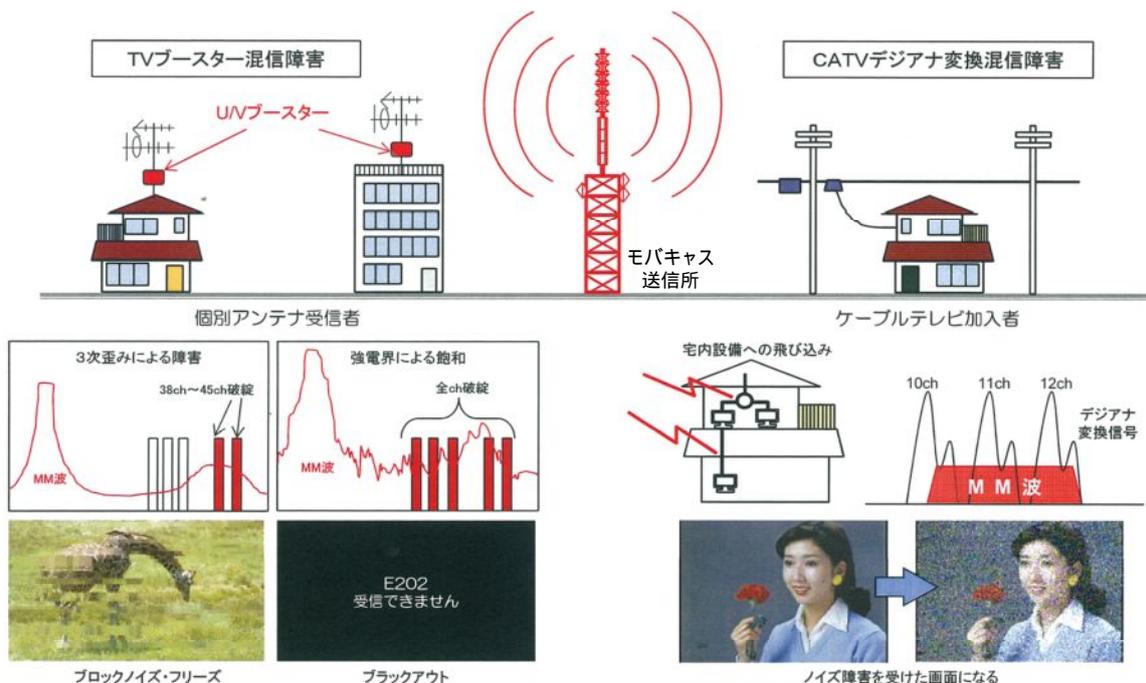
TVブースター混信障害 地デジ個別受信世帯で、VHFアンテナが撤去されず地デジアンテナと混合されているような場合は、ブースターに強いモバキャスト波が入って、地デジ画面がブロックノイズ・画面フリーズ・ブラックアウトとなることがあります。

CATVデジアナ変換混信障害 ケーブルテレビでデジアナ変換チャンネルをご覧のお宅では、10・11・12チャンネルにスノーノイズが入る場合があります。

モバキャストによる受信障害についてのご相談は

モバキャスト受信障害対策センター 0120-355-411（無休、9:00～21:00受付）

モバキャスト受信障害対策センターホームページ 「モバキャスト受信障害」で検索



【NHKの放送受信料に関するお問い合わせ窓口】

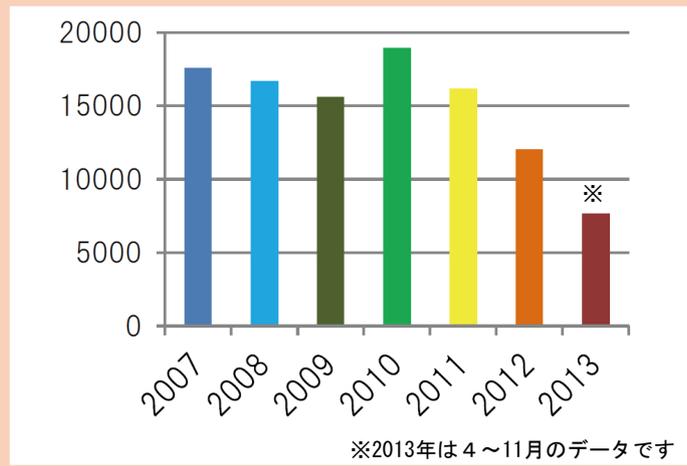
「0570-077-077」又は「050-3786-5003」へ（平日9時～21時、土日祝は20時まで）
ホームページ「インターネット営業センター」もご利用下さい <http://pid.nhk.or.jp/jushinryo/>



～連載・受信設備itter⑩～
NHKへの受信相談



放送の受信設備を振り返るとともに最近の動向を紹介する連載です。今回は東海北陸地域のNHKへ寄せられる、テレビ&ラジオ受信不良相談の概要について、ご紹介します。

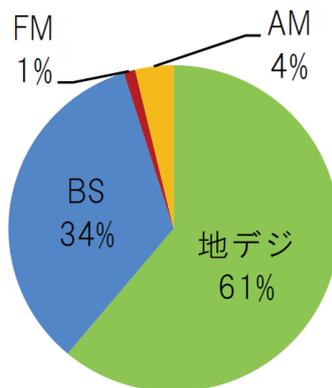


■受信相談の件数について

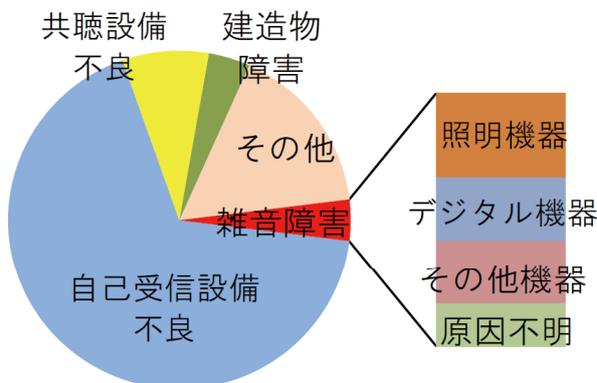
- ・東海北陸のNHKへは、1年間に1万5千件程度、受信不良等に関する相談が寄せられています。
- ・アナログ放送終了前のピーク時には、2万件弱にもおよぶ相談が寄せられました。
- ・2011年以降は、完全デジタル化による受信改善効果から、相談件数は減少傾向です。

■相談メディアについて

- ・地域によって傾向はやや異なりますが、東海北陸地域全体での相談メディア内訳は右グラフのとおりです。地デジが6割、BSが3割程度です。
- ・震災に対する備えなどの意識向上から、近年AMラジオに関する相談も増えていきます。



(2012年度)



(2012年度)

■受信不良結果の内訳について

- ・受信不良の原因の約7割が、自己の受信設備（アンテナ、ブースター等）の不良によるものです。
- ・雑音電波によるトラブルは全体の4%程度で、障害源としてネオンなど照明機器、無線LANなどデジタル機器が散見されます。
- ・デジタル放送の特性により建造物障害は少なくなりましたが、まだ受信不良全体の4%程度を占める件数が確認されています。